

健康を祈って茅の輪くぐり

天萬神社で7月31日、水無月さんが行われ、訪れた人たちが無病息災を祈りました。

境内には「輪くぐりさん」の愛称で知られる、直径約2メートルの茅の輪潜りが置かれ、履物を脱いで茅の輪を潜り、罪や災厄を祓って一年間の無事を祈る神事が行われました。

暑さが緩む夕方には、参拝の家族連れらが次々と拝殿前の茅の輪をくぐりに訪れました。神事に合わせて参道には多くの屋台が並び、夜半には花火大会が行われ真夏の到来を告げました。



茅の輪を潜る参拝者

身近な科学を楽しむ



ドライアイスを使った実験をする参加者

科学のおもしろさを体験する「わくわく科学実験教室」が小学生を対象に公民館さいはく分館で開かれました。

51人が参加し、サイエンスレンジャーの曾我部國久さんの指導で、風船や液体窒素、電子レンジなどを使った実験を楽しみました。

参加した子ども達は自分で作った樹脂キーホルダーやストローク笛をお土産にして教室を満喫した様子でした。一緒に参加した保護者は「科学にからめて、先生の教育の考え方などが聞けてとてもよかった」と話されました。

この夏、ふるさと新発見

観光客に南部町の史跡や名勝を案内する「南部町ふるさとガイドの会（代表岡田昌孫さん）」が、地元中学生を対象にジュニアガイド養成講座を行いました。

地元の子ども達に郷土の歴史に触れてもらおうと、今夏初めてガイドを募集し、南部中学校の生徒4人が参加しました。生徒は町の郷土史のあらましや、赤猪岩神話、吉持家、小松城などについて8月6日から4日間に渡って現地を回りながら学習し、講座の終了後にガイド認定証を受け取りました。



赤猪岩神社の講義を受けるジュニアガイド

ふるさと納税を帰省客にPR



納税をPRする町職員とフーちゃん・ユーくん

お盆の帰省時期に合わせ、南部町は米子空港やJR米子駅などでふるさと納税のPR活動を行いました。

米子空港では8月13日、午前の東京、名古屋発の2便が到着する時間に合わせて、職員3人が南部町のマスコット、フーちゃん・ユーくんと一緒に帰省客を出迎えました。職員は「お帰りなさい。南部町の応援をお願いします」と呼びかけながら、ふるさと納税の仕組みや担当窓口を紹介するチラシを配りました。